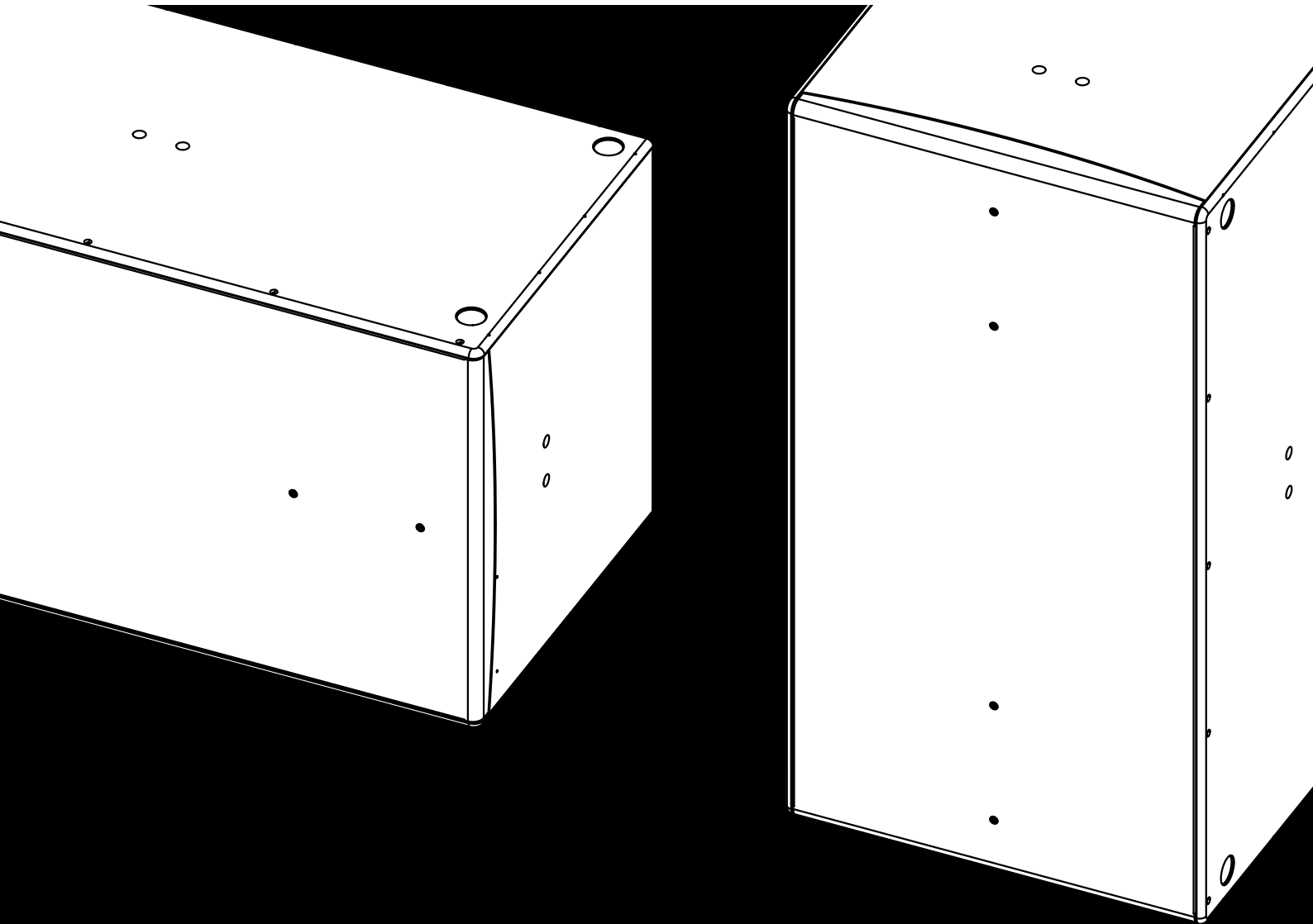


XS

21S-SUB
マニュアル 1.3 ja



概説

21S-SUB マニュアル

バージョン 1.3 ja, 10/2018, D2625.EN .01

Copyright © 2018 by d&b audiotechnik GmbH & Co. KG; all rights reserved.

本マニュアルは製品と共に保管するか、常に参照できる安全な場所に保管してください。

本製品を再販される場合には、製品と共に本マニュアルを販売先にお渡しください。

d&b audiotechnik GmbH & Co. KG
Eugen-Adolff-Str. 134, D-71522 Backnang,
T +49-7191-9669-0, F +49-7191-95 00 00
docadmin@dbaudio.com, www.dbaudio.com

目次

1	安全上の注意	4
1.1	ラウドスピーカーを使用する際の注意点.....	4
2	21S-SUB ラウドスピーカー	5
2.1	製品説明.....	5
2.2	コネクタ.....	5
2.3	使用.....	8
2.3.1	コントローラーの設定.....	8
2.4	技術仕様.....	9
3	製造者宣言	10
3.1	ラウドスピーカーの EU 適合性 (CE マークについ て)	10
3.1.1	WEEE 宣言 (廃棄について)	10

1.1 ラウドスピーカーを使用する際の注意点

人体に傷害をもたらす可能性があります。

大音量で駆動しているラウドスピーカーのすぐそばには決して近寄らないでください。業務用ラウドスピーカーシステムは、人間の健康に害を及ぼす音圧レベルまで到達する性能を持っています。危険でないと思われる音量(約95 dB SPL 以下)であっても、長時間さらされていると難聴の原因となる恐れがあります。

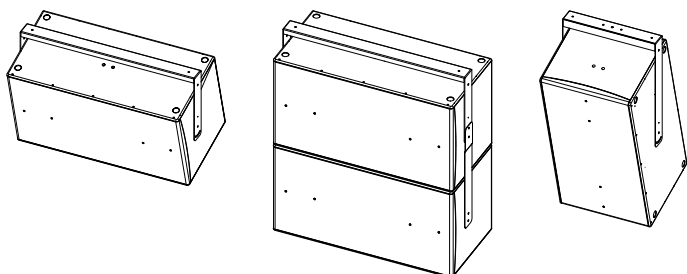
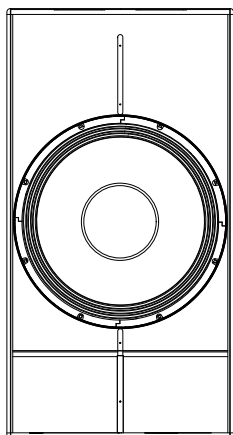
ラウドスピーカーを地面に積んだり、吊り下げたりする作業を行う時の事項に注意してください。

- ラウドスピーカーをスタックしたりスピーカースタンドを設置する時は必ず硬い床面上に設置してください。複数のシステムを積み重ねる場合は、動かないようにストラップで固定してください。
- 仮設置やスピーカーの構成設置に使用するアクセサリは d&b が試験、認証している物のみを使用します。特に弊社アクセサリに関連する機種に対応した「使用説明書」や「フライング、リギングマニュアル」に記載されているアクセサリの正しい使用方法と最大荷重量に注意してください。
- 固定設備や可動設置使用で d&b 以外の付加的なハードウェアを使用して固定、結束等を行う場合には、全ての該当品が適切なサイズか、安全荷重係数を満たしているかを確認してください。ご使用になる製品の製造者からの取り扱い説明書や安全に関わるガイドラインを必ず参照してください。
- ラウドスピーカーの外観やアクセサリは、目につく磨耗や破損の兆候がないかを定期的に点検し、必要であれば交換してください。
- 機器の荷重を支持するボルトは定期的に点検を行ってください。

機器の故障を引き起こす恐れがあります。

ラウドスピーカーは使用していない時でも静的電磁場を常に発生します。従って、これらを設置したり、運搬したりする時にはこの磁場によって、損傷や障害を生じる恐れのあるものが機器の近くに無いことを確認してください。一般的には磁気データ媒体(フロッピーディスク、オーディオおよびビデオテープ、キャッシュカードなど)から 0.5 m (1.5 ft) の間隔があれば十分です。コンピューターやビデオモニターでは、1 m (3 ft) 以上の間隔が必要な場合もあります。

2 21S-SUB ラウドスピーカー



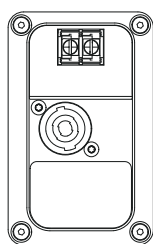
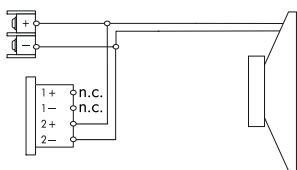
21S-SUB ラウドスピーカー

設置例：

Z5555 水平ブラケット 21S-SUB で 21S-SUB を水平に設置。

Z5556 ブラケットエクステンション 21S-SUB で 2 台の 21S-SUB を水平に設置。

Z5557 フライイングブラケット 21S-SUB で 21S-SUB を垂直に設置。



2.1 製品説明

21S-SUB は、d&b xS シリーズのラウドスピーカーと使用するコンパクトな高性能サブウーファーです。高偏位 21 インチネオジミウムドライバーがバスレフレックス設計のキャビネットに搭載されています。標準モードの周波数範囲は 35 Hz から 105 Hz INFRA モードの周波数範囲は 33 Hz から 85 Hz です。

21S-SUB は、大型特殊形状のレフレックスポートにより、パワー圧縮やブリージング効果を最小限に抑えて、高い音圧レベルを達成することが可能です。

船舶用合板製のエンクロージャーは耐衝撃塗装仕上げです。キャビネットの前面は、音響透過性のある発泡フォームを裏側に貼りつけた頑丈なメタルグリルで保護されています。キャビネットが動いたり、対応するパネルが傷つかないように、上面パネルや側面パネルに取り付けるためのゴム足が、4 個付属しています。

キャビネットは、DIN 18032-3 に従った耐衝撃を有しています。

キャビネットオプション

耐天候仕様 (WR) は屋外での使用に適しています (IP34、垂直エイミング最大 0°)。キャビネットは、黒の PCP (ポリウレアキャビネットプロテクション) による耐衝撃・耐天候塗装仕上げが施されています。

リギングコンポーネント

キャビネットの上面、底面、側面の各パネルにはそれぞれ 1 組の M10 ネジ穴が装備されており、以下のような様々なリギングアクセサリーの取り付けが可能になっています。

- Z5555 水平ブラケット 21S-SUB
- Z5556 ブラケットエクステンション 21S-SUB
- Z5557 フライイングブラケット 21S-SUB

2.2 コネクター

キャビネットには、2+/2- ピン配列の一对の NL4 M コネクターと 2 個のネジ端子ブロック (ST) が装備されています。

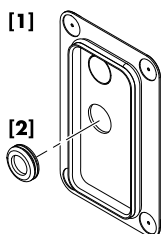
耐天候仕様 (WR) のキャビネットには、直付け入力ケーブル (PG タイプ、H07-RN-F、2 x 2.5 mm² (AWG 13)、標準長 5.5 m (18 ft) が装備されています。

対応するピンおよびコネクターは下の表に示しています。

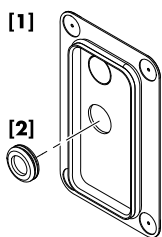
NL4 M	1+ (n.c.)	1- (n.c.)	2+	2-
ST	なし	なし	+	-
PG	なし	なし	茶色 (+)	青色 (-)

d&b LoadMatch

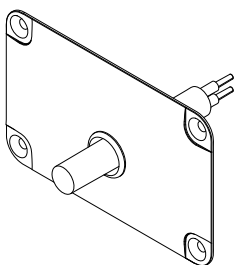
D80 アンププラットフォーム以降では、LoadMatch 機能によってアンプが使用されるスピーカーケーブルの特性を電気的に補填されるので追加導線が必要ではありません。このため、LoadMatch は使用するコネクターの種類に関係なく使用することが可能です。



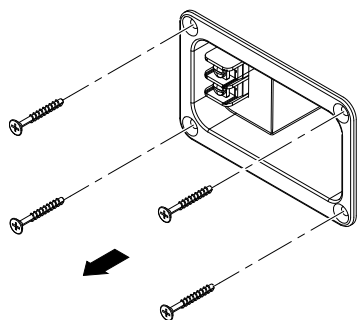
カバープレートとゴムグロメット



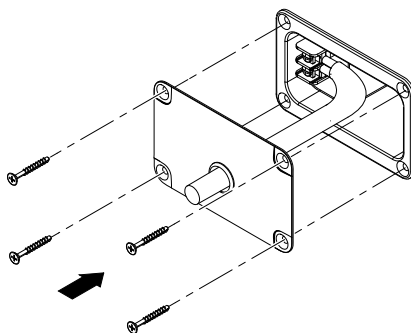
ステップ 1



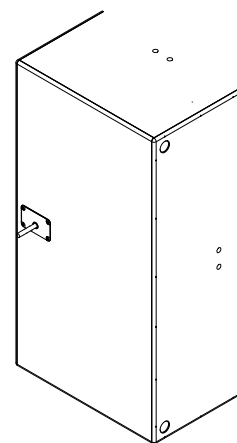
ステップ 2



ステップ 3

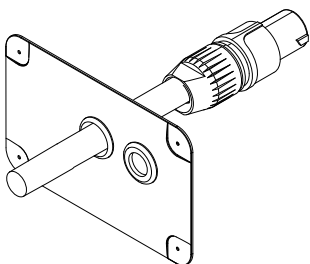


ステップ 4/5



ステップ 6

直付けケーブルの設置



カバープレート[1]との NL4 ケーブル接続

直付けケーブルの接続

21S-SUB ラウドスピーカーには、カバープレート [1] とゴムグロメット・フィードスルー [2] が取り付けられています。屋内で使用する場合には、コネクタパネルを隠す目的でこれらの部品を使用することも可能です。屋外で何も保護がない環境で使用する場合には、これらの部品でコネクタパネルを保護することが必要です（これを怠ると、保護等級 IP34 を維持できません）。

直付けケーブルの設置は以下の要領で行なってください。

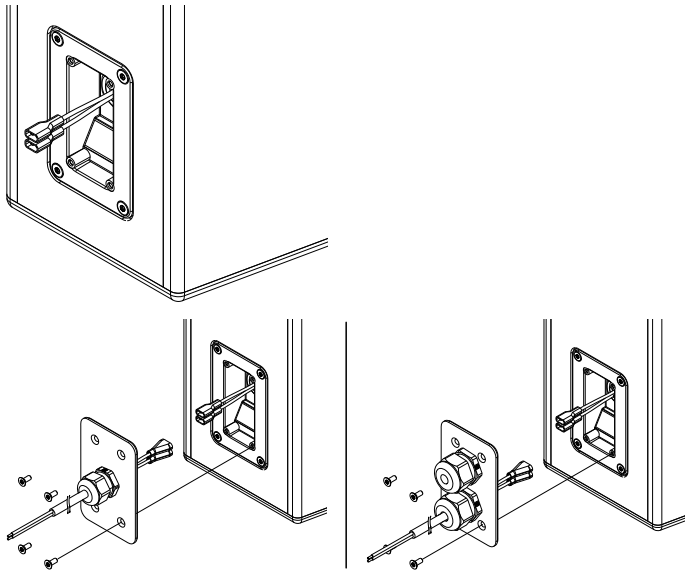
1. カバープレート [1] 上のロックアウト穴を取り外し、ゴムグロメット [2] をはめます。
2. 接続ケーブルをゴムグロメットに通し、
3. コネクタパネル上の 4 個のネジを外します。
4. ネジ端子へケーブルワイヤーを接続します。
⇒ 極性に注意してください！
5. カバープレートがしっかりとハマるまで、これをコネクタパネルの方向へ押し込みます。
6. 全部のネジを使用してコネクタパネルにカバープレートを固定します。

カバープレートとの NL4 接続

キャビネット上のコネクタパネルにある NL4 コネクタソケットは凹部に位置しており、カバープレート [1] と NL4 ケーブルコネクタとの併用が可能となっています（図参照）。

メモ: この場合、Neutrik NL4FC タイプのコネクタを使用することが必要です。

NL4 接続を行なう場合には、前項に記載された方法と同様の要領で行なってください。



ファストンコネクタ、オス、シングル PG (スタンダード), デュアル PG (オプション)

WR オプション (耐天候仕様)

d&b ラウドスピーカーの多くには、異なる設置状況や環境の影響に対応できる様々なオプションをご用意されています。21S-SUB ラウドスピーカーには以下のオプションが用意されています：

- 耐天候 (WR)：屋外での使用に適したオプションです。キャビネットは、黒の PCP (ポリウレタキャビネットプロテクション) による耐衝撃・耐天候塗装仕上げが施されています。

WR キャビネットの窪みにはファストンコネクタ (2 x 6.3 mm, メス) にも対応するコネクタパネルが装備されています。カバープレートは、画像に示されているように、シングルまたはデュアル PG ケーブルグランド (ケーブル直径 6 - 12 mm の PG13.5 タイプ) を受けることができます。

注意!

耐天候仕様の WR オプションの場合、より周辺環境の変化が多い環境でラウドスピーカーを使用することが可能になりますが、屋外で何も保護が無い環境で継続して使用することを保証するものではありません。

- ラウドスピーカーにさらにカバーを取り付けてください。
- キャビネットは水平方向または下に傾けた位置で設置します。

以下の要領で先バラ接続ケーブルを取り付けてください。

必要工具：ドライバー (#T20)

メモ：ケーブルの極性を確認します。
茶色 (+) / 青 (-)。

1. 接続ケーブルを PG のネジ切り部分に挿入し、オスコネクタをメスコネクタに接続します。
2. カバープレートがしっかりとハマるまで、コネクタパネルの方向へ押し込みます。
3. 4 個の皿ねじを使用してコネクタパネルにカバープレートを固定します。

2.3 使用

注意!

d&b ラウドスピーカーは、正しく設定された d&b アンプのみをご使用ください。他の使用法ではラウドスピーカーのコンポーネントに損傷を与える恐れがあります。

使用可能な d&b アンプ:

30D/D20/D80.

用途	設定	チャンネル/キャビネット
21S-SUB	21S-SUB	1

設定が可能な d&b アンプでは、Dual Channel または Mix TOP/SUB モードのコントローラーセットアップが適切です。

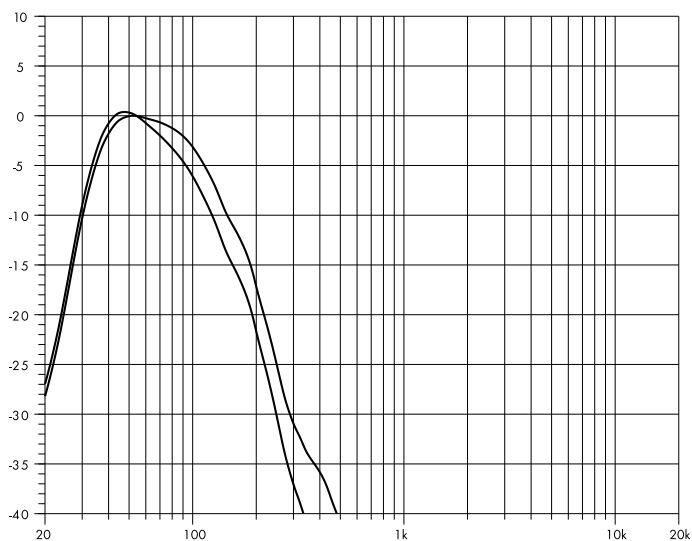
2.3.1 コントローラーの設定

音響調整には、INFRA モードが選択できます。

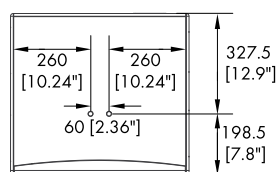
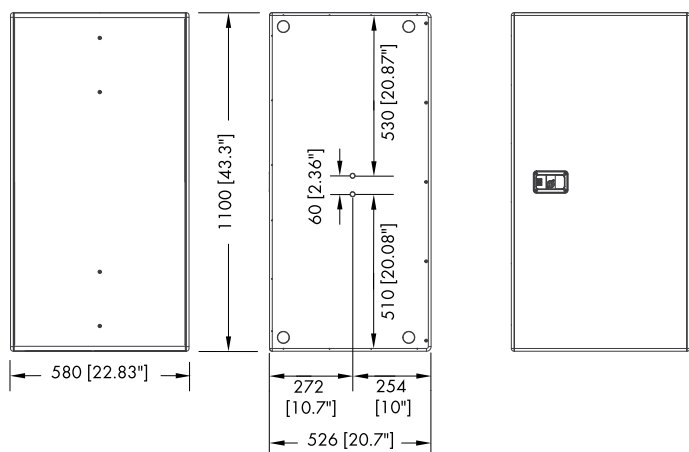
INFRA モード

INFRA モードが選択されている場合には、システムの動作周波数の上限が 105 Hz から 85 Hz に減少されます。これによって 21S-SUB をフルレンジモードの d&b ラウドスピーカーシステムの補完用に使用することができます。

この設定は、アクティブ駆動の 21S-SUB サブウーファーを例えば分散型サウンドシステムなど、フルレンジモードで動作している TOP キャビネットと組み合わせる場合に使用します。INFRA モードは他にも、CUT モードで動作している 21S-SUB と TOP キャビネット間が密接している場合の、カップリングによる影響を補正する場合などにも使用することができます。



21S-SUB 周波数特性 標準、INFRA モード



21S-SUB キャビネット寸法 mm [インチ]

2.4 技術仕様

21S-SUB システムデータ

周波数特性 (-5 dB スタンダード) 35 Hz - 105 Hz
周波数特性 (-5 dB INFRA モード) 33 Hz - 85 Hz
最大音圧レベル(1 m、無響音場)
30D/D20 134 dB
D80 135 dB
..... (最大 SPL ピーク、テスト信号 CF4 のピンクノイズ)	

21S-SUB ラウドスピーカー

公称インピーダンス 4 Ω
許容入力 (RMS/ピーク 10 ms) 650/2600 W
コンポーネント 1 x 21 インチドライバー
コネクタ 1 x NL4 M
..... 1 x ネジ端子 (ST-線断面積最大 4 mm ² /AWG 11)
..... WR のオプション: ファストンコネクタ 2 x 6.3 mm、メス
ピン配列 NL4 M:2+/2-
..... WR オプション: 茶色 +/x 青色-
重量 54 kg (119 lb)



3.1 ラウドスピーカーの EU 適合性 (CE マークについて)

この宣言は、以下の製品に適用されます。

d&b Z1613 21S-SUB ラウドスピーカー、

製造者 d&b audiotechnik GmbH & Co. KG

この番号で始まる製品バージョンの全てが初期仕様に一致していますが、後に設計または電気技術的変更が行われないことを前提としています。

弊社は、本製品が全て関係条項の EC 指令条項に準拠していることを宣言いたします。

この宣言に関わる詳細な情報は、d&b に注文頂くかウェブサイト www.dbaudio.com からダウンロードすることもできます。

3.1.1 WEEE 宣言 (廃棄について)

電気及び電子機器を廃棄する際は、必ず他のゴミと分別してください。

本機器を廃棄する時には、お住まいの国や地域の関連する法律や条例に従ってください。廃棄の際に不明な点がある時は、お買い上げの販売店、または d&b audiotechnik までお問い合わせください。

WEEE-Reg.-Nr. DE: 13421928

